北海道・とかち
移住ガイド

　このガイドブックは、北海道・十勝（とかち）へ移住を考えている方々のために、基本的な情報を掲載しています。
　十勝は、北海道らしさにあふれ、構成する１市16町２村は、それぞれの特色をもった、とても素晴らしいエリアです。

「十勝に住んでみたいけれど、どんなところ？」

　実際に移住するうえでの気になる疑問に答え、十勝生活を始めるために必要な様々な情報を紹介します。

十勝圏複合事務組合

目　次

十勝への移住について何が知りたいですか？

☆ **十勝ってどこにあるの？** ・・・ 1

☆ **仕事はあるの？** 【就業情報】 ・・・ 2
【就農情報】 ・・・ 4

☆ **住宅事情はどう？** 【住宅】 ・・・ 6

☆ **どこに聞けばいいの？** 【相談内容別担当窓口】 ・・・ 7

☆ **病院・福祉施設はある？** 【福祉・医療】 ・・・ 9

☆ **各市町村の情報が欲しい！** 【管内市町村紹介及び移住相談窓口】

① 帯広市 ・・・10	⑦ 清水町 ・・・16	⑬ 幕別町 ・・・22
② 音更町 ・・・11	⑧ 芽室町 ・・・17	⑭ 池田町 ・・・23
③ 士幌町 ・・・12	⑨ 中札内村 ・・・18	⑮ 豊頃町 ・・・24
④ 上士幌町 ・・・13	⑩ 更別村 ・・・19	⑯ 本別町 ・・・25
⑤ 鹿追町 ・・・14	⑪ 大樹町 ・・・20	⑰ 足寄町 ・・・26
⑥ 新得町 ・・・15	⑫ 広尾町 ・・・21	⑱ 陸別町 ・・・27
		⑲ 浦幌町 ・・・28

☆ **まちの規模は？** 【管内市町村人口・世帯数】 ・・・29

十勝への移住を考えているあなたへ

この「移住ガイド」は、十勝へ移住を考えている方々のために作成したものです。
十勝への移住を検討する際の資料としてご活用ください。

《 気 候 》

十勝地方は、亜寒帯に属する北海道にあって海岸部を除き大陸性気候です。夏は海岸部で海霧が立ちこめ、日中の気温はあまり上がりませんが、内陸部では比較的高温が続きます。冬は大陸性寒冷高気圧により低温が続きますが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく晴天の日が続きます。年間を通じて全国的にも有数の日照時間の長さに恵まれ、年間降水量も少ない地域です。

《 地 勢 》

十勝管内は、北海道の南東部に位置しており、総面積は10,831.55㎢で岐阜県とほぼ同じ面積を有し、全道総面積の約13%を占めています。また、太平洋を背に、周囲を大雪山国立公園、阿寒国立公園、日高山脈襟裳国定公園に囲まれ、内陸部の平野の中央には大雪山系を水源とする十勝川が流れています。

《 暮らし 》

十勝ではマイカーが重要な移動手段です。近年では各自治体で循環バスを運行するなど、マイカーの所有は必須ではなくなってきていますが、農村部では必要な場所もあります。

冬期間の運転は十分注意して走行していれば過度の心配はいりません。

ショッピングはそれぞれの市街地で昔からの商店街が頑張っているほか、近年は大型駐車場を持つ郊外型店舗が帯広市や周辺の町を中心にできています。

十勝の冬は、気温が下がりますが雪は少なく、しっかり断熱された住宅や暖房設備が充実しており、家の中では快適な暮らしができるようになっています。

ようこそ十勝へ!

ACCESS

【飛行機】
東京－とかち帯広空港　約1時間40分
（空港－帯広駅バスで約40分）

【ＪＲ】

札幌－帯広	約2時間30分
新千歳空港－帯広	約2時間30分
函館－帯広	約6時間
釧路－帯広	約1時間40分

【都市間バス】 ポテトライナー

札幌－帯広	約3時間50分

【自動車】

札幌－帯広	約3時間
函館－帯広	約6時間
釧路－帯広	約2時間10分

（高速道・高規格道路利用）

就業情報

生活の基盤は「しごと」から。

移住を希望するには様々な場合が考えられますが、生活の基盤となる収入の確保が一番気になる問題ではないでしょうか。十勝の就職情報のお問合せ先をご紹介します。

北海道

北海道では就職活動支援施設『ジョブカフェ北海道』を設置しています。職業カウンセリングや就職支援セミナーなど、就職支援に係わるサービスが全て無料で利用できます。

◆北海道就業支援センター『ジョブカフェ北海道』
〒060-0044　札幌市中央区北４条西５丁目 大樹生命札幌共同ビル７階
TEL：011-209-4510　利用時間：10:30～19:00[月～金] / 10:00～17:00[土]
URL：https://www.jobcafe-h.jp/

◆地方拠点『ジョブカフェ・ジョブサロン帯広』
〒080-0012　帯広市西２条南12丁目 ＪＲ帯広駅エスタ東館２階
TEL：0155-26-2130　利用時間：10:00～17:00[月～金]

十 勝

《ハローワーク》

ハローワークでは、全国のハローワークで受理した求人のうち、事業主がインターネットへの掲載に同意したもの全てについて検索できます。お近くのハローワークで十勝の求人情報を探してみてください。また、ハローワーク帯広では、新規求人一覧表をFAXで提供しています。掲載されている求人公開カードも取り出せますので、音声ガイドに従って操作してください。

◆ハローワークインターネットサービス　URL：https://www.hellowork.mhlw.go.jp/

◆ハローワーク帯広（帯広公共職業安定所）
〒080-8609　帯広市西５条南５丁目２　TEL：0155-23-8296　FAX：0155-23-3052

◆ハローワーク池田分室
〒083-0022　中川郡池田町字西２条２丁目　TEL：015-572-2561　FAX：015-572-4221

◆ハローワークしごとプラザ帯広
〒080-0012　帯広市西２条南12丁目 ＪＲ帯広駅エスタ東館２階
TEL：0155-26-1810　FAX：0155-23-0108

《ビズロケとかち》

「ビズロケとかち」は、帯広市が運営する十勝で働きたい求職者と十勝管内の求人企業を繋ぐマッチングサイトです。十勝での就職・移住を検討されている求職者は、年齢・スキル・持っている資格・アピールポイントなどの情報を登録することで、匿名で登録企業に情報提供され、情報を閲覧した企業から連絡が届くシステムです。
〒080-8670　帯広市西５条南７丁目１番地　帯広市商業労働課内
TEL：0155-65-4168　URL：https://tokachi-direct.jp/

《ワークワークとかち》

十勝・帯広で働きたいＵターン・移住希望者のためのサイト。十勝で仕事を探している人必見の求人情報・採用情報を掲載。また、移住に関するイベント情報や、十勝や帯広での生活への不安を解消できる情報も満載です。　URL：https://work-tokachi.com/

《市町村独自の無料職業紹介所》－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

町民だけでなく、全国の方が就職や移住に向けての最初の一歩を踏み出せるよう企業と求職者の間に入ってあっせんと紹介をします。

◆士幌町無料職業紹介所
〒080-1292　河東郡士幌町字士幌225番地　TEL：01564-5-5213　FAX：01564-9-5812
URL：https://www.shihoro.jp/recruit/

◆上士幌町無料職業紹介所
〒080-1408　河東郡上士幌町字上士幌東３線238　TEL：01564-2-4294　FAX：01564-2-4637
URL：https://kamishihoroshigoto.com/

◆鹿追町無料職業紹介所
〒081-0292　河東郡鹿追町東町１丁目15番地１　TEL：0156-66-4032　FAX：0156-66-1020
URL：https://www.town.shikaoi.lg.jp/work/syokugyousyoukai/

◆新得町無料職業紹介所
〒081-8501　上川郡新得町３条南４丁目26番地　TEL：0156-64-0522　FAX：0156-64-6464
URL：https://www.shintoku-town.jp/sangyou_kankou/job/sigotosagashi/syoukaijyo/

◆芽室町無料職業紹介所
〒082-0030　河西郡芽室町本通３丁目２　NPO法人 Qucurcus内　TEL：0155-67-5144
URL：https://hellowork.memuro.net/

◆更別村無料職業紹介所
〒089-1562　河西郡更別村字更別189番地１　TEL：0155-52-2211　FAX：0155-53-3005
URL：https://www.sarabetsu.jp/shigoto/shokugyoushoukai/

◆池田町無料職業紹介所
〒083-8650　中川郡池田町字西１条７丁目11番地　TEL：015-572-3218　FAX：015-572-5560
URL：https://www.town.hokkaido-ikeda.lg.jp/job/index.php

◆陸別町無料職業紹介所
〒089-4311　足寄郡陸別町字陸別東１条３丁目１　TEL：0156-27-2141　FAX：0156-27-2797
URL：https://www.rikubetsu.jp/shokugyo_shokai/

《再就職のための技術を身につけたい方は》－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

道内主要都市には、道立高等技術専門学院が設置されており、離転職者の方々の再就職を促進するため、地域の状況に応じた訓練コースを設定し、職業訓練を行っています。

◆北海道立帯広高等技術専門学院
〒080-2464　帯広市西24条北２丁目18番１号　TEL：0155-37-2319　FAX：0155-37-2727
URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ois/

《福祉施設の仕事・求人》－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

福祉の職場で働きたい方や、福祉施設等への就労に関するさまざまなご相談に応じる窓口として、帯広市福祉人材バンクがあります。福祉職場に関する各種の情報提供を行っており、求職登録することにより、希望に沿う求人が来た場合には迅速に紹介してもらうことができます。

◆帯広市福祉人材バンク無料職業紹介所
〒080-0847　帯広市公園東町３丁目９番地１　帯広市グリーンプラザ内
TEL：0155-27-2525　FAX：0155-21-2415
URL：http://www.obihiro-shakyo.jp/bank.html

就農情報

農業王国・十勝には様々な形態の農業経営があります。
畑作・酪農・野菜・畜産業等多岐にわたる中、特に畑作では麦類・豆類・ばれいしょ など全道一の収穫量を誇っています。

農業をはじめるには、綿密な計画としっかりとしたビジョンが必要です。十勝で新規就農を希望する方たちのためにさまざまな支援策を用意しています。

担い手育成センター

北海道での新規就農に関する窓口として『北海道農業担い手育成センター』があり、東京、大阪にも資料・電話相談コーナーを設置しています。道内の市町村に設置されている地域担い手センターや農業改良普及センターなどと連携して、就農を希望する方に対し、研修先や就農候補地の紹介、農地取得や資金面の相談対応など、様々な支援を行っています。

◆公益財団法人北海道農業公社『北海道農業担い手育成センター』
〒060-0005　札幌市中央区北５条西６丁目１－23 北海道通信ビル６階
TEL：011-271-2255　FAX：011-271-3776
URL：https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/

新規就農までの基本的な流れ

※実際には様々なケースがあります

（１）情報や基礎知識を集める
農業を始めるための基本情報（例：営農開始時の自己資金の平均額が約900万円、作目・品目別の経営収支の目安、道内の農地価格など）を集めたり、全国・都道府県新規就農相談センターなどの相談窓口を活用しましょう。全国農業会議所主催の「新・農業人フェア」が、毎年、東京・大阪・札幌などで開催されていますので、積極的にご活用ください。

（２）体験・現場見学
短期間（１か月間程度）でも農作業実習を体験してみましょう。自分のやりたい農業の考え方をまとめることができる早道となります。

（３）目指す農業のビジョンを描く
どんな営農の種類を選択するのか？通常栽培か有機栽培か？単一作物か複数作物か？選択作目や生活条件、市町村の就農支援措置なども考え、就農候補地を検討しましょう。

（４）農業経営技術を身につける研修
栽培、飼育技術や経営のノウハウなど多くの技術、知識が必要です。就農候補地の農家などで研修を行い、ノウハウを身につけていきましょう。

（５）就農するための準備
資金面を含めた農業の経営能力がついたら就農場所、農地を探します。市町村農業委員会などに相談しましょう。

（６）農地、農作業機械などを取得して新規就農
農業経営を行おうとする地元の農業委員会で、農地の売買（または賃貸）の許可を受け、経営に必要な農作業機械を購入（またはリース）していよいよ新規就農です。

就農支援

就農する際には初期投資が必要となります。そこで、補助金及び奨励金などを受け取ることができる町村もあります。受け取れる条件・金額・内容は、市町村により異なりますので、各自治体の農業担当課へお問合せください。

農業実習制度

農業の現場を実際に肌で感じて、基礎知識や技術を学び、農業に対する理解を深めることを目的に、自治体によって農業実習生の受入れを実施しています。

畑作はおおむね４月から10月末まで、酪農は１年中受入対象期間になります。

住居については、基本的には農家への住み込みになりますが、町の施設や民間アパートなどが整備されている場合もありますので、詳細は各自治体の農業担当課へお問合せください。

◆新得町立レディースファームスクール

〒081-8501　上川郡新得町３条南４丁目26番地（新得町産業課農政係）
TEL：0156-64-0525　FAX：0156-64-3450
URL：https://www.shintoku-town.jp/sangyou_kankou/nougyou/ladysfarm/

◆鹿追町産業研修生受入事業

〒081-0224　河東郡鹿追町元町３丁目19－１　ピュアモルトクラブハウス
TEL：0156-69-7122　URL：https://www.tokachi.or.jp/puremalt/

◆まくべつ農村アカデミー研修事業（短期農業体験コース）

〒089-0627　中川郡幕別町字新和162番地の128（公益社団法人幕別町農業振興公社）
TEL：0155-57-2711　FAX：0155-57-2712
URL：https://www.makubetsu-nsk.com/

◆足寄町新規就農研修センター

〒089-3797　足寄郡足寄町北１条４丁目48番地１（足寄町経済課農業振興室）
TEL：0156-28-3861

住 宅

移住するためには、住宅の確保が大切な要素です。
民間住宅も、新聞広告や不動産情報誌に多く掲載されています。
地元の情報も同時に入手でき、十勝に関する情報も得られます。

民間住宅の入居

民間住宅（一軒家、アパートなど）や帯広市内の物件については、不動産情報誌や新聞広告などに数多く掲載されていますが、町村部では情報が限られ、個人の情報に頼らなければいけない場面もあります。まずは、各自治体の移住担当窓口、もしくは住宅相談窓口で相談してみましょう。就職が決まっている場合は、職場で相談に乗ってもらうのも良いでしょう。

公営住宅の入居

公営住宅は、入居資格条件（収入基準、同居の親族、住宅困窮程度など）があります。入居資格は各自治体の担当窓口までお問合せください。

家賃・土地・家屋の相場

賃貸住宅の目安として、ワンルームや単身者用の２間部屋で４万円～５万円くらい、２ＬＤＫで６万円～８万円とお考えください。
土地代は十勝管内でもかなり幅がありますが、一番高いといわれている帯広市内の分譲地で１坪当たり13万円程度、町村部では１坪当たり１万円以下で分譲を行うところもあります。

分譲地

町村有の土地を分譲している自治体があります。市町村紹介ページを参照してください。分譲内容の詳細については、各自治体の分譲担当窓口にお問合せください。

土地・住宅に係る助成

移住後の生活イメージをつかんで、土地を取得して住宅を購入（建築）もしくは改修（リフォーム）する際の助成制度を設けている自治体があります。助成内容や条件・金額については自治体によって異なりますので、各自治体の移住担当窓口にお問合せください。

移住体験

移住を検討しているが「どこのまちがいいのかわからない」という場合は、短期間の移住体験をしてみるのはいかがでしょうか。
各市町村では、移住を希望する人に実生活に近い体験をしてもらうための滞在施設《ちょっと暮らし住宅》を用意しており、電化製品・家具などの生活用品が用意されています。移住体験サービスの詳細は、市町村紹介ページをご参照ください。
滞在期間中に周辺のまちを見て回り、気に入ったまちがあれば役場で空いている住宅の情報を聞いたり、直接自分の目で確かめたりすることができます。ちょっと暮らし住宅、移住体験については、10ページから管内市町村紹介ページをご参照ください。
また、十勝圏複合事務組合では、ちょっと暮らし住宅を特集した小冊子『北海道・十勝 移住体験ガイド』を発行するとともに、ホームページでも公開していますので、ぜひご覧ください。

◆道営住宅相談窓口
北海道十勝総合振興局 帯広建設管理部建設指導課
〒080-8588　帯広市東３条南３丁目１番地
TEL：0155-26-9050　FAX：0155-23-5325
URL：https://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/kk/okk/ksd/syusakentiku.html

〈お問い合わせ〉

◎は移住ワンストップ窓口

市町村名	相談内容	担当窓口	連絡先
帯広市	移住	◎ 観光交流課	0155-65-4133
	起業・開業支援	商業労働課	0155-65-4165
	就農	農政課	0155-59-2323
	住宅関連全般	住まいのワンストップ相談窓口 （建築開発課）	0155-65-4179
音更町	移住	◎ まちづくり推進課 交流推進係	0155-42-2111 （内線 219）
	起業・開業支援、空き店舗活用	商工観光課 商工労政係	0155-42-2111 （内線 733）
	就農	農政課 農政係	0155-42-2111 （内線 713）
	農地取得	農業委員会 農地振興係	0155-42-2111 （内線 782）
	住宅改修補助	建築住宅課 住宅係	0155-42-2111 （内線 324）
		環境生活課 温暖化対策係（太陽光パネル）	0155-42-2111 （内線 567）
	空き地バンク	都市計画課 開発指導係	0155-42-2111 （内線 313）
	公営住宅、空き家バンク マイホーム借上げ制度 民間賃貸住宅家賃補助	建築住宅課 住宅係	0155-42-2111 （内線 324）
士幌町	移住、空き家・空き地 賃貸住宅情報	◎ 地域戦略課 まちづくり推進係	01564-5-5212
	農地取得、就農	農業委員会	01564-5-5219
	公営住宅、分譲地	建設課 建築住宅係	01564-5-5216
	住宅改修助成、起業・就労支援	産業振興課 商工観光労働係	01564-5-5213
上士幌町	移住	◎ NPO法人 上士幌コンシェルジュ	01564-2-3993
	起業・開業支援	商工観光課	01564-2-4291
	就農	農林課 農産担当	01564-2-4292
	農地取得	農業委員会 農業振興担当	01564-2-4298
	公営住宅、住宅新築・改修助成	建設課	01564-2-4297
	宅地分譲	総務課	01564-2-2111
鹿追町	移住、空き家・空き地バンク 民間賃貸情報 新築・改築・住宅購入助成	◎ 企画課 企画係	0156-66-4032
	公営住宅等	建設水道課 建築係	0156-66-4033
新得町	移住	◎ 新得町観光協会	0156-64-0522
	起業支援	産業課 商工労働係	0156-64-0522
	就農支援	産業課 農政係	0156-64-0525
	農地取得	農業委員会	0156-64-0523
	空き家・空き地情報 空き家改修助成	町民課 生活環境係	0156-64-0528
	分譲地	総務課 契約管財係	0156-64-5111
	町営住宅、新築・増改築	施設課 町営住宅係	0156-64-0529
清水町	移住 新築・改修・住宅購入助成	◎ 商工観光課 移住定住促進係	0156-62-1156
	起業等スタートアップ支援	商工観光課 商工観光係	0156-62-1156
	就農支援	農林課 農政係	0156-62-2112
	農地取得	農業委員会 農地振興係	0156-62-1155
	公営住宅 空室・空地・空き家情報	建設課 住宅都市係	0156-62-2113
芽室町	移住	◎ NPO法人 Qucurcus（ククルクス）	0155-67-5144
	就農支援	農林課 農林企画係	0155-62-9725
	農地取得	農業委員会	0155-62-9732
	公営住宅	都市経営課 建築住宅係	0155-66-5961
	新築・住宅購入助成	魅力創造課 魅力発信係	0155-62-9736
中札内村	移住、村営住宅 移住・定住に関する助成 民間賃貸住宅家賃助成	◎ 施設課 施設グループ	0155-67-2496
	起業支援	産業課 産業グループ	0155-67-2495
	就農支援		
	農地取得	農業委員会	0155-67-2498
	分譲地	総務課 総務グループ	0155-67-2311
更別村	移住、起業支援、民間賃貸情報 分譲地、空き地・空き家バンク	◎ 企画政策課	0155-52-2114
	就農支援	産業課	0155-52-2115
	農地取得	農業委員会	0155-52-2116
	公営住宅、用地購入助成 新増築・住宅購入助成	建設水道課	0155-52-5200

市町村名	相談内容	担当窓口	連絡先
大樹町	移住、空き家情報	◎ 企画商工課 企画係	01558-6-2113
	起業支援、空き店舗活用	企画商工課 商工観光係	01558-6-2114
	就農支援	農林水産課 農政係	01558-6-2115
	農地取得	農業委員会	01558-6-2110
	分譲地	総務課 経理管財係	01558-6-2112
	新築・改修・住宅購入補助	建設水道課 建築係	01558-6-2118
	公営住宅	建設水道課 業務係	01558-6-2118
広尾町	移住	◎ 企画課 企画防災係	01558-2-0184 （内線 226）
	起業支援、住宅改修補助	水産商工観光課 商工観光係	01558-2-0177
	就農支援	農業担い手センター（JAひろお内）	01558-5-2121
	農地取得	農業委員会	01558-2-0179
	公営住宅	建設水道課 建築公住係	01558-2-0178
幕別町	移住、新築・住宅購入補助 （マイホーム応援事業補助金） 空き地・空き家バンク	◎ 住民課 住民活動支援係	0155-54-2288
	起業支援	商工観光課 商工労政係	0155-54-6606
	就農支援	幕別町農業振興公社	0155-57-2711
	農地取得	農業委員会	0155-54-6625
	分譲 旭町	総務課 契約管財係	0155-54-6608
	分譲 忠類	地域振興課 税務管財係	01558-8-2111
	公営住宅	都市計画課 住宅係	0155-54-6623
池田町	移住	◎ 地域振興課 地域振興係	015-572-3218
	産業活性化支援（新規起業、人材育成等）	地域振興課 産業連携係	015-572-3218
	就農支援	農林課 農政係	015-572-3118
	農地取得	農業委員会	015-572-3126
	新築・改修・住宅購入助成 空き家・空地・民間賃貸情報 マイホーム借上げ制度、公営住宅等	町民課 環境住宅係	015-572-3114
豊頃町	移住、新築・改修・住宅購入助成 空き家・空地・民間賃貸情報 家賃助成、起業支援	◎ 企画課 町づくり推進係	015-574-2216
	就農支援	産業課	015-574-2217
	農地取得	農業委員会	015-574-2218
	町営住宅	施設課	015-574-2215
東北部３町広域相談窓口・受入サポート		とかち東北部移住サポートセンター	0156-33-0001
本別町	移住、分譲地 空き家・空地・民間賃貸情報	◎ 未来創造課 未来創造担当	0156-22-8121
	起業支援	未来創造課 商工労働観光担当	0156-22-8121
	就農相談	農林課 農務担当	0156-22-8126
	農地取得	農業委員会	0156-22-8125
	公営住宅	建設水道課 管理担当	0156-22-8122
足寄町	移住	◎ 総務課 企画財政室	0156-28-3851
	就農相談	経済課 農業振興室	0156-28-3861
	農地取得	農業委員会	0156-28-3871
	公営住宅	総務課 契約財産室 財産管理担当	0156-28-3853
	新築・改修・購入補助 （住宅・商業系家屋）	建設課 建設室 建築担当	0156-28-3867
陸別町	移住	◎ 総務課 企画財政室	0156-27-2141 （内線 215）
	就農支援	産業振興課 農業振興担当	0156-27-2141 （内線 133）
	農地取得	農業委員会	0156-27-2141 （内線 121）
	町営住宅	建設課 建築担当	0156-27-2141 （内線 224）
浦幌町	移住	◎ 株式会社リペリエンス	015-578-7652
	空き家・空き地バンク 新築・住宅購入補助	まちづくり政策課 まちづくり推進係	015-576-2112
	起業支援	産業課 企業対策労政係	015-576-2181
	就農支援	産業課 農業振興係	015-576-2181
	農地取得	農業委員会	015-576-2179
	町営住宅、住宅改修補助	施設課 建築住宅係	015-576-2139

福祉・医療

十勝では、住民の誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことができる社会の実現を目指しています。
各種福祉サービス、保健・医療サービスに関する相談窓口も開設されています。

医療機関開設状況

2024年5月現在（出典：日本医師会地域医療情報サイト https://jmap.jp/ ）

市町村名	病院数	一般診療所	歯科診療所	市町村名	病院数	一般診療所	歯科診療所
帯広市	18	92	94	大樹町	1	2	2
音更町	4	14	18	広尾町	1	2	3
士幌町	1	0	3	幕別町	1	11	10
上士幌町	0	2	2	池田町	1	4	2
鹿追町	1	0	1	豊頃町	0	2	1
新得町	0	2	4	本別町	1	1	4
清水町	1	3	4	足寄町	1	2	3
芽室町	1	4	9	陸別町	0	1	1
中札内村	0	1	2	浦幌町	0	1	2
更別村	0	1	1	合計	32	145	166

福祉関係・保健医療関係相談窓口

福祉事務所は、帯広市が同市市民福祉部、町村部が北海道十勝総合振興局保健環境部社会福祉課、児童福祉の専門機関は、北海道帯広児童相談所が管内全域を担当しています。各町村の福祉担当窓口でも各種相談に応じています。

また、保健医療機関については、北海道帯広保健所及び同所の広尾、新得、本別の各支所が、保健・医療に関する相談窓口となっているほか、各市町村の保健・医療担当窓口でも各種相談に応じています。

◆北海道十勝総合振興局 保健環境部社会福祉課
〒080-8588　帯広市東３条南３丁目１番地
TEL：0155-27-8516　FAX：0155-27-2188
URL：https://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/syf/

◆北海道帯広児童相談所
〒080-0801　帯広市東１条南１丁目１番地２
TEL：0155-22-5100
URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/obj/

◆北海道帯広保健所
〒080-8588　帯広市東３条南３丁目１番地
TEL：0155-27-8634　FAX：0155-25-0864
URL：https://www.tokachi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/hgc/

・広尾支所　〒089-2622　広尾郡広尾町公園通南４丁目１　TEL：01558-2-2191
・新得支所　〒081-0013　上川郡新得町３条南６丁目１番地16　TEL：0156-64-5104
・本別支所　〒089-3334　中川郡本別町北１丁目４番39号　TEL：0156-22-2108

① 帯広市　おびひろし

管内市町村紹介＆移住相談窓口

「あおあお ひろびろ いきいき 未来を信じる帯広」を将来の姿として掲げ、まちづくりを進めている人口約16万人のまちです。北海道内５番目に人口が多い東北海道の拠点都市であり、国内有数の食料基地・十勝地方の中核都市です。商業施設や病院などの都市機能が充実しているほか、郊外には北海道らしい見渡す限りの田園風景が広がっています。

市街地から車で約30分の距離には「とかち帯広空港」があり、羽田空港へ１日７往復運航しているほか、高速道路や鉄道網が整備されており、自家用車や都市間バス、ＪＲで札幌への日帰りも可能です。

帯広のみどころ【サイクリング】

帯広のみどころ【ばんえい競馬】

休日にはまちなかでのショッピングや映画を楽しんだり、気分転換に郊外へ出かけ、キャンプやサイクリング、渓流釣りなどのアウトドア・アクティビティで四季折々の大自然を満喫することができる、都市と自然が調和した「住みやすさ」や、全国有数の日照時間、きれいな水や空気、広大で肥沃な大地など、自然環境や地域資源に恵まれ、そこで育まれる豊富で良質な農畜産物などの安全でおいしい「食」が魅力です。

また、帯広競馬場において世界で唯一「ばんえい競馬」が開催されています。体重がサラブレッドの約２倍ある巨大な「ばん馬」が、最大１ｔの鉄製ソリをひく姿は、明治時代に開墾や農耕で活躍した馬たちの雄姿を現在に伝える貴重な文化遺産です。

短期移住体験『ちょっと暮らし』施設がありますので、まずは短期の移住を体験して帯広の魅力に触れてください。

◆ドットコムビル（市内中心部）
「コンドミニアム」タイプの施設です。

◆E2.8MS A棟（市内中心部）
「ワンルーム」タイプのお部屋です。

◆HOTEL NUPKA〈ヌプカ〉（市内中心部）
木のぬくもりが感じられる客室です。

◆帯広八千代ユースホステル（農村部）
農村での移住体験をしたい方におすすめです。

ちょっと暮らし施設【HOTEL NUPKA】

帯広畜産大学

市内にある日本唯一の国立獣医農畜産系単科大学「帯広畜産大学」には、全国各地から学生が集まっており、その研究成果は国内外から高い評価を得ています。

また、市内には保育所や幼稚園・認定こども園（計48所(園)）、小・中学校（小学校25、中学校13、義務教育学校１）、高等学校（公立６、私立２）があり、子どもの成長や進路に応じた保育・教育が受けられます。

【移住相談窓口】

帯広市 経済部観光交流室観光交流課 TEL：0155-65-4133

〒080-8670　帯広市西５条南７丁目１番地　メール：sumitai@city.obihiro.hokkaido.jp
URL：https://www.city.obihiro.hokkaido.jp/iju/index.html

② 音更町　おとふけちょう

十勝平野の中心部に位置し、十勝川を挟んで帯広市の北側に隣接しており、**町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまち**です。

農業が基幹産業で、国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・ばれいしょなど、数々の農産物を生み出す豊かな大地に恵まれています。また、**北海道遺産に選定された世界でも珍しい「モール温泉」が湧きだす十勝川温泉**や、日高・大雪連峰をはるかに望む美しい自然環境はとても魅力的で、四季を通じて観光客で賑わいます。

豊かな自然環境と都市の魅力を活かし、町民と協働のまちづくりに取り組んでいます。

音更のみどころ
【十勝川温泉（モール温泉）】

音更のみどころ【小麦の収穫】

町の中心部に発展した音更地区・木野地区の市街地には、大型スーパーや飲食店、生活用品店のほか、各種医療施設や社会福祉施設など、生活に必要な環境が整っていて大変便利です。

公共交通では、路線バスのほか、誰でも100円で乗降できる「コミュニティバス」が町内を巡回し、通院や買い物などにとても便利で、多くの人に利用されています。

町内全域に光回線が整備されていますので、インターネット環境も充実しています。

【小学校11校、中学校５校、高校１校、短大１校を設置】

小・中学校は、全校自校給食方式を取り入れ、地元の食材を使った美味しい給食は児童生徒に大人気です。

北海道音更高等学校は、単位制を導入。農業や環境に関する特色のある選択科目を設けており、推薦入学者選抜による道外からの出願を受け入れています。

帯広大谷短期大学の社会福祉科介護福祉専攻へ進学する学生に対し、授業料や教科書購入費などの一部を助成する制度もあります。

100円で乗降できる
【音更町コミュニティバス】

音更町短期移住体験住宅

【音更町短期移住体験住宅】

音更町では、移住を希望する皆様に生活備品を備えた移住体験住宅をご用意しています。音更町は１年を通して過ごしやすく、季節の変化が美しいため、四季を存分に楽しむことができます。季節を問わず利用可能ですので、この機会にぜひ音更町での生活を体験してみませんか。

◆期　間：７日間から31日間（７～８月は７日以上14日以内）
◆利用料：3,000円（光熱水費含む）

【移住相談窓口】

音更町 企画財政部まちづくり推進課 TEL：0155-42-2111（内 219）

〒080-0198　河東郡音更町元町２番地　メール：machi-s@town.otofuke.hokkaido.jp
URL：https://www.town.otofuke.hokkaido.jp/kurashi/iju/ijyu-teijyu.html

③ 士幌町　しほろちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

士幌町の人口は約6,000人、十勝平野の北部に位置しており、畑作・酪農・畜産と日本の食の一端を支えています。十勝の中心都市の帯広市からは30kmほど北に位置し、気候は夏は30℃、冬はマイナス20℃以下となり、四季を通じて自然の厳しさ、美しさを感じることができます。また、主要産業である農業では、生産から加工・消流までを合言葉に農業経営の近代化に努めています。優良な牛乳を加工した「アイスクリーム」や大量に収穫するじゃがいもを加工した「スナック菓子」など、技術開発や付加価値農業も積極的に行っています。

士幌のみどころ【ヌプカの里】

充実した移住・定住施策

子育て世帯が士幌町に移住した時の支援

◆住まいの支援
- みのり野団地に住宅を新築　100万円～
- 中古住宅を購入　25万円～

◆その他の支援
- 子育て支援祝い金　例）３人目を出産→15万円
- 保育料の軽減　一部を除き、保育料無料
- 学校給食（小中学生）の無償化
- 高校生までの医療費　無料

※すべて諸条件があります。事前に必ずご確認ください。

短期滞在　移住体験住宅【オリベ】

移住を希望する皆様に快適な生活をしていただくため、平成25年に体験用住宅（一棟２戸）を新築しました。住宅は町の中心部から車で15分ほどの静かな山里に建てられており、近くに太古の源泉“モールの湯”のしほろ温泉があります。北海道の自然に囲まれながら、ゆっくり士幌町での生活を満喫してください。

◆利用日数：10泊～３か月以内
◆利用料金：3,000円/１泊
※光熱水費を含む

短期滞在　移住体験住宅【オリベ】

長期滞在　農園付き住宅

長期滞在　二地域居住・テレワークが可能な農園付き住宅

士幌町への移住・二地域居住を希望する方、事務所の開設・起業を検討される方に、最低３か月からの長期滞在ができ、士幌町で農園（菜園）づくりを楽しみながら生活体験、新しい働き方が実践できる平屋戸建て住宅４棟が平成30年４月にオープンしました。

◆利用料等：月額60,000円（期間や時期によって変動有）
◆利用条件：諸条件がありますので、
事前に必ずご確認ください。

【移住相談窓口】

士幌町　地域戦略課　まちづくり推進係　TEL：01564-5-5212

〒080-1292　河東郡士幌町字士幌225番地　メール：chousei@shihoro.jp
URL：https://www.shihoro.jp/move/

④ 上士幌町　かみしほろちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

北海道十勝地方の北部、日本一広い国立公園である大雪山国立公園の東山麓に位置し、町内の約76%が森林地帯という自然豊かなまちです。畑作、酪農を中心に、第一次産業を基幹としながら、全ての宿が源泉かけ流しである「ぬかびら源泉郷」、日本最大級の公共育成牧場の「ナイタイ高原牧場」、北海道遺産にも選定されている「旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群」「十勝三股の樹海」といった、豊富な資源を活かした観光業も盛んで、毎年、バルーンフェスティバルを開催する「熱気球の町」としても知られています。

上士幌のみどころ【ぬかびら源泉郷】

上士幌のみどころ【ナイタイ高原牧場】

脱炭素先行地域に選定されており、「ゼロカーボン上士幌の実現とスマートタウンの構築」を目指しています。ＳＤＧｓの視点を取り入れ、更に取組みを深化させることで「まちの価値」を高めていきたいと考えています。スマートタウンの構築により、誰もが生涯活躍のまちづくりを後押ししていくとともに、再生可能エネルギーの地産地消、関係人口の創出による地域経済の活性化を図るなど、経済・社会・環境面において取組みを進めています。

北海道のほぼ中央、内陸部に位置しているため、夏は30℃を超える日もありますが、本州ほどの湿度はなく、とても過ごしやすい季節となります。冬はマイナス20℃を下回る日も少なくありませんが、北海道内では比較的降雪量も少ないです。

典型的な農村地域である特性を活かし、スロータウンの理念のもと、手間暇をかけた生き方、豊かさを提案していくことで、対極にある都市と農村の交流を進めてきており、上士幌町での生活を体験していただく「ちょっと暮らし」事業を実施しています。

上士幌のみどころ
【旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群】

上士幌ちょっと暮らし専用住宅　１号・２号

上士幌町の「ちょっと暮らし」は、毎年度末に次年度入居者の先行募集を行うほか、空いている期間については、年度途中でも随時申し込むことができますので、下記ＨＰで、空き状況や詳細をご確認の上、興味のある方はぜひご連絡ください。

【ちょっと暮らし専用住宅概要（左写真）】
◆滞在期間：１週間以上～１か月以内
◆利用料金：１か月あたり 90,000円（４，５，10,11月）
120,000円（６～９月）
75,000円（12～３月）
※光熱水費＆町内共通商品券15,000円分込

【移住相談窓口】

NPO法人 上士幌コンシェルジュ TEL：01564-2-3993

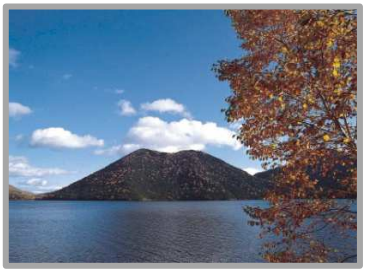
〒080-1492　河東郡上士幌町字上士幌東３線239番地（かみしほろ情報館内）
メール：ijyuu@kamishihoro.net　URL：https://www.ijyuu.com/

⑤ 鹿追町　しかおいちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

十勝平野の北西部（帯広市から車で約40分）に位置し、日本ジオパークの認定を受けている人口約5,000人の農業を基幹産業とするまちです。国立公園内にある然別湖では、白蛇姫まつりやしかりべつ湖コタンなどのイベントが開催され、カヌーや登山・フィッシングなどネイチャーガイドによる様々なアクティビティも体験できます。

また、町内には２つの美術館があり、そのうち１つは町が運営する神田日勝記念美術館で、ＮＨＫのドラマ「なつぞら」に登場する山田天陽のモチーフとなった画家である神田日勝の作品を展示しています。



鹿追のみどころ【然別湖】

国際姉妹都市
カナダ・ストニィプレイン町との
交流推進事業
【鹿追高校生カナダ短期留学派遣】

鹿追町では、カナダ・ストニィプレイン町（以下「ス町」）と姉妹提携を締結しています。「使える英語」と「国際的なコミュニケーション能力」を身に着けさせるためＡＬＴを町独自で加配し、５歳から異文化理解と体験を盛り込んだカリキュラムを実施しています。加えて、ス町からの友好訪問団の受入れや、鹿追高校生の２年生全員がス町に２週間ホームステイする短期留学の派遣を行っています。

また、町では女性限定の農業研修プログラムがあり、家具・家電の揃った研修施設に入居し約１年間の研修を受けることができます。

ほかにも、瓜幕地区での山村留学制度を実施しています。乗馬やキャンプなど多くの自然体験を経験でき、親子留学専用住宅や子どもだけの寮（留学センター）もあります。

2050年に向けた「ゼロカーボンシティ」を宣言し、CO2の排出削減のため、家畜のふん尿を活用したバイオマス発電を中心に、次世代エネルギーの水素の活用、公共施設における太陽光発電の活用など、環境に配慮し持続可能な社会を目指した取組みを先進的に進めています。令和４年４月には環境省の「脱炭素先行地域（第１回）」に選定され、脱炭素の取組みを全国に波及するモデル自治体として各種プロジェクトを進めるとともに、令和５年５月には「重点対策加速化事業」の採択を受け、町内全域を対象に脱炭素化を進めています。

地域おこし協力隊より定住した大西潤さん

《地域おこし協力隊活動当時の大西潤さんから》

まだあまり知られておりませんが、鹿追町では豊かな自然環境をベースに、日本の中でもー、二を争えるほどの活動（ネイチャーガイドの活動）や教育（小中高一貫教育）が行われています。また、町の経済状況も優良で、青年活動も活発です。

移住をお考えの方、ぜひ一度鹿追町に遊びにきてみてください。思っている以上に魅力あふれるまちですよ。

【移住相談窓口】

鹿追町　企画課　TEL：0156-66-4032

〒081-0292　河東郡鹿追町東町１丁目15番地１　メール：kikaku@town.shikaoi.lg.jp
URL：https://www.town.shikaoi.lg.jp/ijyuu/

⑥ 新得町　しんとくちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

北海道の重心地、新得町。日高山脈と東大雪の山々、大自然に囲まれた北海道のほぼ中央にあり、道内どこへでも移動しやすく、新得駅には「おおぞら」「とかち」の特急全便が停まるので交通アクセスは抜群。市街地から少し離れればすぐそこに自然が広がり、スキーやゴルフ、豊かな水源を生かしたラフティングや渓流釣り、登山に温泉など、楽しいことがいっぱい。朝晩の寒暖の差を生かした「新得そば」はそば好きにはたまらない一品でおいしい食材も存分に楽しめます。地元の人も温かく迎え入れてくれるので、移住者もたくさん生活しています。

新得のみどころ【しんとく新そば祭り】

お試し暮らし住宅①

移住をご検討されている方を対象に、新得町での日常生活を体験できる「お試し暮らし住宅」を３棟ご用意しています。利用期間は２週間から１か月の期間、予約受付は入居希望日の６か月前です。北海道の冬は寒いからと敬遠される方が多いですが、移住をご検討されている方はぜひ冬のお試し暮らしを体験してみてください。寒さは否定できませんが、住宅は暖かく、雪かきも年数回程度です。十勝晴れや星空など、冬にしか見られない景色を楽しむことができますよ。

◆新得町で新築住宅を建てた場合
各種条件を満たせば最大100万円を助成します。

◆新得町内の空き家を購入し改修、もしくは改修して賃貸した場合
各種条件を満たせば最大100万円を助成します。

※各種条件がありますので、詳しくはお問合せください。

新得のお勧め分譲地【しらかば団地】

新得の住民の足
【コミュニティバス「そばくる」】

新得町では、安心して子育てができるよう、各種支援や助成を行っています。

- 子ども医療費全額助成（18歳以下）
- 出産祝い金支給（10万円～100万円）
- 妊婦健康診査費の助成
- 不妊治療・不育症治療費の助成
- パパママサポート事業

また、公共交通では、路線バスのほか、誰でも100円で乗降できるコミュニティバス「そばくる」が町内を巡回し、日常の買い物や通院などに非常に便利で、多くの人に利用されています。

【移住相談窓口】

新得町観光協会 TEL：0156-64-0522

〒081-8501　上川郡新得町３条南４丁目26番地　メール：welcome@shintoku-town.net
URL：https://www.shintoku-town.jp/miryoku/ijyu/

⑦ 清水町　しみずちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

清水町の歴史は、明治31年（1898年）に、近代日本経済の父と呼ばれた実業家「渋沢栄一」によって設立された十勝開墾合資会社が熊牛農場を開設したことに始まります。

本町は十勝平野の西部に位置し、縦横に延びる２本の国道が通り、札幌南ＩＣから道東道十勝清水ＩＣへは２時間です。

また、子育て支援策も手厚く、出産祝い金制度、18歳以下の医療費無料、乳幼児予防接種や保育料第二子以降無料等の制度が充実し、安心して生活できる体制を整えています。

人口の５倍以上の牛を飼育している酪農・畜産や、畑作を基幹産業としており、町内で育てられた農産物を活用した特産品も数多く販売しています。

しみず認定こども園 ぽっけ

清水のみどころ【円山展望台】

清水町に移住を検討されている方を対象に、移住体験住宅を清水地区に５軒、御影地区に３軒ご用意しています。令和４年度に民泊仲介サイト「Airbnb Japan（株）」と提携をし、移住体験住宅の他、町長の家や職員の家も民泊施設として掲載しています。令和５年度は(株)キッチハイク社と連携し、保育園留学事業を開始。多くの移住希望者や清水町ファンが清水町に訪れています。無印良品で有名な良品計画によりリノベーションされ、更には無印良品の家具家電でトータルコーディネートされた移住体験住宅もあります。

本町は、アイスホッケーが盛んなまちで、老若男女アイスホッケーに親しんでいるまちです。全国からアイスホッケーをやるために本町に移住をされる方も多いです。

「第九のまち」としても知られている本町は、昨年「北海道十勝しみず吹奏楽団」を結成し、人気の演奏会となっています。

◆しみずマイホーム奨励金交付制度

対象：町内で住宅を取得及び住宅を改修した者

住宅取得事業(子育て世帯)：最大100万円、中古住宅取得で50万円
(18歳以下の子どもがいる世帯)
(一般世帯)：最大80万円、中古住宅取得で40万円

住宅リフォーム事業(子育て世代)上限20万円(対象工事費用の10%)
(一般世帯)上限15万円(対象工事費用の10%)

◆清水町移住者賃貸住宅家賃奨励金交付制度

町内の賃貸住宅に入居された場合に家賃1/2、上限月額１万円、18歳以下の子ども１名につき5,000円加算した額を支給します。

移住体験住宅 清水１号

清水のご当地グルメ【コラボ丼】
(左)十勝清水牛玉ステーキ丼　(右)十勝牛とろ丼

全国ご当地どんぶり選手権で金どんぶりを獲得した「十勝牛とろ丼」や新・ご当地グルメグランプリ北海道で３年連続グランプリを獲得し殿堂入りした、十勝若牛を使用した「十勝清水牛玉ステーキ丼」、ソウルフードの「鳥せい」のから揚げや町民に愛される「有楽町」のホルジンなど、清水町は「肉の町」です。旬の時期にはアスパラやにんにくもあり、グルメの町となっています。

【移住相談窓口】

十勝しみず移住促進協議会 TEL：0156-62-1156

〒089-0192　上川郡清水町南４条２丁目２番地　メール：machi3@town.shimizu.hokkaido.jp
URL：https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/tourism/migration.html

⑧ 芽室町　めむろちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

秀麗な日高山脈を背に、大自然の懐に抱かれたまち、それが“めむろ”です。
基幹産業である農業は、肥沃な大地と気候条件に恵まれ、小麦・てん菜・ばれいしょ・豆類・スイートコーンなどの畑作は道内有数の生産量を誇っています。
工業は、地理的な物流条件の良さや、帯広市に隣接しているという立地条件を活かし、農産物などの豊富な地場資源を活用した食料品製造業を中心に発展しており、さらに工業団地の造成・企業の誘致などを通じ、活性化を図っています。

芽室のみどころ【新嵐山展望台】

芽室のみどころ【芽室公園】

◆アクセス

・帯広市から	ＪＲで約20分、車で約20分
・とかち帯広空港から	車で約35分
・札幌市から	ＪＲで約２時間10分
	車で約２時間40分

市街地にある芽室公園は20haの広さを誇り、とても綺麗な芝生が一面に広がります。また、噴水にはウォータースライダーが付いており、夏の暑い日は家族連れで賑わいます。季節ごとにイベントも開催され、多くの観光客が訪れる、芽室を代表する観光スポットとなっています。

【住宅購入等に関する助成】

◆子育て世帯新生活応援奨励制度
子育て世帯が町内市街地に新築住宅を購入または住宅を新築する場合、30万円分の商工会商品券を交付

◆中古住宅購入世帯新生活応援奨励事業
子育て世帯が町内に中古住宅を購入した場合、25万円分の商工会商品券を交付

芽室のみどころ【氷灯夜】

NPO法人Qucurcusの八所さん

【NPO法人 Qucurcus 八所さんからのコメント】

とにかく人のエネルギーが強いまちです。町民も移住者も「どうすれば、もっと芽室が面白くなるか」「次はどんな楽しいことをしようか」「どうすれば困っている人の助けになるか」と考え行動する人が多く、あちこちで様々なイベントや取組みが立ち上がります。社交的な気質ですが、よほど親しくない限りプライベートに立ち入ることはないので、大阪育ちで東京暮らし経験者の私も、違和感なくお付き合いできています。人が人を繋げてくれますので、まずは一人と繋がりましょう。私もお手伝いしますよ！

【移住相談窓口】

NPO法人 Qucurcus（ククルクス）　TEL：0155-67-5144

〒082-0030　河西郡芽室町本通３丁目２番　メール：info@qucurcus.or.jp
URL：https://qucurcus.or.jp/

⑨ 中札内村　なかさつないむら

管内市町村紹介＆移住相談窓口

中札内村は、人口約3,900人の農業中心の村です。帯広市街から車で約30分、とかち帯広空港からも車で約10分の距離に位置し、交通アクセスに恵まれています。

日本でも有数の清流に数えられる札内川が流れ、美しい日高山脈を望むことができる豊かな自然環境があります。その自然を生かし、村全体で取り組む有機農法による農作物は枝豆を筆頭に「中札内ブランド」として全国のスーパーにも並び、広く知られています。美しい景観づくりや質の高い芸術文化の振興に取り組んでおり、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

中札内のみどころ
【ピョウタンの滝】

中札内のみどころ
【道の駅なかさつない】

【移住体験住宅】

中札内村への移住を希望・検討されている方を対象に、移住体験住宅をご用意しています。令和６年度は短期２棟、中長期１棟を整備。住宅には家具や電化製品などを備え、誰でも手軽に中札内村での生活をお楽しみいただけます。この機会に中札内村での生活を体験してみませんか。

◆利用期間　短期：２泊３日～１か月　中長期：１か月～６か月
◆利用料金　１日当たり2,000円／１か月60,000円※光熱水費含む

【移住・定住促進に向けた支援】

◆民間賃貸住宅家賃助成
民間賃貸住宅に入居している方（条件あり）へ家賃の一部を助成

◆定住促進住宅取得奨励金
住宅を新築した方に50万円、購入した方に20万円を助成
※加算制度あり：子ども１人につき50万円加算など

◆中札内スタイル住宅建設奨励金
村で定める基準に適合する住宅を新築または購入した方に50万円（北方型住宅は80万円）を助成

◆定住促進奨励金
住宅を新築または購入した方の固定資産税相当額を５年間助成

中札内村移住体験住宅

中札内住民の足
【コミュニティバス「くるくる号」】

令和５年度より、安心して子育てができるよう各種支援を拡充しています。

◆保育料の無償化
◆高校生までの医療費無料
◆出産祝金制度
第１子・第２子は５万円、第３子以降は10万円を支給
◆高校生育成支援金制度
高校生１人に入学祝金５万円、月額１万円を支給
◆児童生徒検定チャレンジ受験料補助金

また、無料で乗降することができるコミュニティバス「くるくる号」が村内を巡回しており、日常の買い物や病院に利用することができます。

【移住相談窓口】

中札内村　施設課　施設グループ　TEL：0155-67-2496

〒089-1392　河西郡中札内村東１条南１丁目２番地１　メール：s-sisetsu@vill.nakasatsunai.hokkaido.jp
URL：https://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp/kurashi/jyuutaku_takuchi/soudan/

⑩ 更別村　さらべつむら

管内市町村紹介＆移住相談窓口

十勝地方の南部、帯広市の南に位置する更別村は、農家一戸当たりの耕作面積は平均53.1haという、国内最大規模の大型機械化農業の村です。畑作では小麦、ばれいしょ、豆類、甜菜等を生産し、畜産では乳牛、肉牛を飼育しています。

村の特産品には、更別産きたほなみを100%使用した**「さらべつむらのなまうどん」**や「すももの里」のすももを使用した**「すもものむヨーグルト」**等があります。

とかち帯広空港へは車で約15分、羽田空港までのフライトは約90分と、「首都圏域と隣接した田園」というイメージにぴったりの村です。「住みたい 住み続けたいまち」を目指し、誰もが心身ともに健やかな暮らしができるまちづくりを進めています。

パッチワークの大地に包まれた更別村の市街地

更別村定住化促進住宅

北海道の移住に興味はあるが、見知らぬ土地での暮らしは少し不安という方で更別村に定住希望の方、または研修等の目的で６か月以上の居住を希望する方のために最長２年間入居可能な住宅です。

住民票の異動が伴いますが、長期のお試し住宅として定住希望の方にご利用いただいている住宅です。市街地に２戸ありますので、ぜひご活用ください

◆定住化促進住宅（新栄）

・住所：更別村字更別基線91番地７
・建設年度：昭和54年度（令和３年全面リフォーム）
・間取り：１ＬＤＫ　・構造：コンクリートブロック造
・面積：61.25㎡　・家賃：17,900円/月

【移住者や子育て世帯に向けた各種支援】

◆住宅建設等助成制度
住宅を新築した場合、最大50万円を助成
加算制度：移住者の場合は最大50万円、18歳以下の子ども１人につき10万円など

◆子ども医療費助成
18歳までの子どもの医療費を全額助成（保険診療の範囲内）

◆保育料軽減事業
第１子の保育料を半額、第２子以降の保育料を還付

◆給食費無償化事業
小学生・中学生の学校給食費を全額無償化

※条件はお問い合せください。

更別のみどころ【農村公園大型遊具】

更別の幻想的な【霧氷】

寒さがピークを迎える１月中旬。マイナス20℃以下まで冷え込む朝には、川の水面から立ち込める水蒸気が霧氷となって美しい景色を創り出します。幻想的な世界を一目見ようと全国各地から訪れるスポットです。例年２月上旬ごろまでお楽しみいただけます。

道道238号線から霧氷スポットまでの案内表示があります。

【移住相談窓口】

更別村 企画政策課 TEL：0155-52-2114

〒089-1595　河西郡更別村字更別南１線93番地　メール：kikaku@sarabetsu.jp
URL：https://www.sarabetsu.jp/ijyuu/

⑪ 大樹町　たいきちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

大樹町は、十勝平野南部に位置し、東に太平洋、西に日高山脈を望むことができます。日高山脈からは日本一の清流に過去12度輝いた歴舟川がまちを流れ、太平洋沿岸には手つかずの原生花園や海が臨めるヨード泉の晩成温泉があります。農業（酪農・畜産・畑作）を中心に、漁業（サケ・マス・毛ガニ等）、林業を基幹産業として発展してきました。また、大樹町が進める宇宙のまちづくりにおいては、北海道に航空宇宙産業が集積する宇宙版シリコンバレーの創造を目指し、商業宇宙港である北海道スペースポート（HOSPO）を整備しています。

大樹のみどころ【晩成温泉】

大樹のみどころ【宇宙交流センター SORA】

昭和59年に「航空宇宙産業基地」の候補地とされて以来、官民一体となって「宇宙のまちづくり」を進めています。「北海道に、宇宙版シリコンバレーをつくる」という計画の実現に向けて「北海道スペースポート（HOSPO）」が整備され、HOSPO内には展示施設「宇宙交流センターSORA」が設備されています。JAXAをはじめとした実験団体が大樹町内で使用した実機などを展示している施設となっており、宇宙を身近に感じられる場所となっています。

【ワーキングステイ促進事業】

専門的な知識やスキルを持つクリエイティブ人材等のワーキングステイに取り組んでいます。まちづくりや田舎暮らしに興味がある方、テレワークをされる方、移住して起業を考えている方向けの住宅です。

◆間 取 り：４ＬＤＫ（95.07㎡）
◆利用期間：７日以上60日以内
◆料　　金：1,200円/日
　　※光熱水費等込み/灯油代等は入居者負担
◆設　　備：各種家具･家電･食器･Ｗｉ－Ｆｉ

ワーキングステイ住宅

移住希望者向け町有住宅

【移住希望者向け町有住宅貸付事業】

町に移住する予定のある方や移住を希望する方に対して、町での生活基盤の形成等の準備期間中の住居として、町が所有する住宅を貸し出しています。時間をかけて家を探したい方、じっくり仕事を見つけたい方向けの住宅です。

◆間 取 り：３ＬＤＫ（63.585㎡）
◆利用期間：原則６か月以内
◆料　　金：34,400円/月　※光熱水費･灯油代等は入居者負担
◆設　　備：ストーブ

【移住相談窓口】

大樹町 企画商工課 TEL：01558-6-2113

〒089-2195　広尾郡大樹町東本通33番地　メール：kikaku-kakari@town.taiki.hokkaido.jp
URL：https://www.town.taiki.hokkaido.jp/soshiki/kikaku/kikaku/ijyu-jyoho.html

⑫ 広尾町　ひろおちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

広尾町は十勝管内の最南端に位置し、東は北海道有数の漁業資源を有する太平洋、西には日高山脈の山並みがそびえたち、その山系に源を持つ５本の河川が海に注ぎます。広尾町はその豊かな自然環境を生かし、漁業を中心に農林業といった第一次産業を基幹産業として発展してきました。

毎年５月には大丸山森林公園でつつじまつり、８月には十勝港で海上花火大会、12月にはシーサイドパークで毛がにまつりが開催され、各種イベントでは広尾町自慢の海産物や農産物が提供されて盛況となっています。

広尾のみどころ【大丸山森林公園】

広尾市街移住体験住宅

「広尾市街」の移住体験住宅は、スーパーや各種飲食店が徒歩圏内にありながら目の前には森林公園が広がるという恵まれた環境にあります。また、十勝港も近くにあり、海や山、川のレジャーを楽しみながら広尾町での生活を満喫できます。

広尾町までのアクセスはとかち帯広空港から車で60分、札幌市から車で５時間ほどとなっています。自転車も用意しているので、車を利用しなくても生活することが可能な市街地にある体験住宅で広尾町での生活を体験してはいかがでしょうか。

広尾町の漁業集落「音調津」の移住体験住宅は、文字通り自然に囲まれたロケーションとなっています。市街地から車で10分ほどの距離にありながら、体験住宅を出てすぐに目に入るのは広大な太平洋と日高山脈の山並みです。また、体験住宅の近くには昆布干場があるので、夏には漁師の人たちが昆布を干す様子を見ることができます。

海や川、山が近くにあるこの自然にあふれた音調津移住体験住宅を利用して広尾町での生活を満喫してはいかがでしょうか。

音調津移住体験住宅

広尾のみどころ【イルミネーション】

広尾町は昭和59年にノルウェーのオスロ市から国外で初めてサンタランドの認定を受けて以来、国内で唯一のサンタランドとして「愛と平和、感謝と奉仕」の基本理念のもとサンタランドにふさわしいまちづくりに取り組んでいます。毎年10月には大丸山森林公園でサンタランドツリー点灯式が行われ、町内のいたる所でイルミネーションの光が灯る幻想的な風景になります。また、クリスマスにはサンタメール事業に取り組んでいます。

【移住相談窓口】

広尾町　企画課　企画防災係　TEL：01558-2-0184（内　226）

〒089-2692　広尾郡広尾町西４条７丁目１番地１　メール：k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

URL：https://www.town.hiroo.lg.jp/kurashi/ijuu/

⑬ 幕別町　まくべつちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

幕別町は、役場本庁のある閑静な住宅街の幕別（まくべつ）地域、商業施設が多く利便性に富んだ札内（さつない）地域、そして、畑や牧場が広がる田園風景が美しい忠類（ちゅうるい）地域の主に３地域からなり、それぞれに特色を持ったまちを形成しています。

本町から北京オリンピックで活躍された高木奈那選手、美帆選手をはじめ、世界を舞台に活躍している多くのアスリートが誕生していますが、その理由の一つに、子どもたちの成長を見守り応援する地域の人々の温かさがあるのかもしれません。

幕別のみどころ
【忠類どんとこいむら祭り】

幕別のみどころ【ピラ・リ】

【あなたの暮らしを応援します（各種支援制度）】

◆住宅取得を応援	幕別町マイホーム応援事業補助金
◆子育てを支援	妊婦健診の助成
	高校生世代までの子ども医療費無料化
◆教育を応援	町内中学校就学旅行費助成
	小規模校特別転入学制度
◆起業を応援	創業等支援事業
◆健康を応援	スマイル検診

※制度の一例です。
　利用には諸条件がありますので、事前に詳細をご確認ください。

【幕別町おためし暮らし体験】

移住を検討されている方に、長期滞在をして幕別町の自然、気候、生活スタイルを体験していただくために、忠類地域にあるスキー場の宿泊ロッジを移住体験施設として提供しています。滞在先は、とかち帯広空港から車で30分、帯広駅から車で50分、忠類市街地から車で１分の場所になります。日高山脈が遠くに広がる景色を眺めながら過ごす心地よい朝を体験してみてください。

◆利用期間：２週間以上３か月以内
　　（利用の３か月前から申込受付）
◆使 用 料：１泊1,650円/人

幕別のおためし暮らし体験【宿泊ロッジ】

幕別のみどころ【パークゴルフ】

誰もが楽しむことができる**「パークゴルフ」**は幕別町で誕生しました。クラブ１本でプレーできる手軽さと、初心者と経験者が垣根なく一緒に楽しめることから、世代間、地域間交流の輪が広がるコミュニティスポーツとして、海外まで広く普及しています。

発祥の地「つつじコース」を目的に遠方から多くの人々が訪れます。春には桜とつつじが、秋には紅葉がコースを彩る中でのパークゴルフは最高です。

【移住相談窓口】

幕別町 住民課 住民活動支援係 TEL：0155-54-2288

〒089-0692　中川郡幕別町本町130番地１　メール：jyuminkatsudoshienkakari@town.makubetsu.lg.jp
URL：https://www.town.makubetsu.lg.jp/kurashi/jutaku_kensetsu/teijyuijyujyoho/

⑭ 池田町　いけだちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

池田町は十勝の中央やや東部にあり、自治体がブドウの栽培からワインの醸造まで行っている「十勝ワイン」のまちとしても全国的に有名です。

帯広市から車で30分、とかち帯広空港までは約50分の距離にあり、また、道東自動車道池田ＩＣがあり、高速道路の利用にも大変便利です。ＪＲ池田駅は特急が停車し、札幌までの所要時間は、約３時間です。また、十勝バス・町コミュニティバス等が運行され、十勝いけだ地域医療センターやその他診療所、図書館や総合体育館、田園ホール（文化ホール）など、各種施設も充実しています。

池田のみどころ【ワイン城】

池田町移住定住体験住宅

【池田町移住定住体験住宅】

移住を希望される方に、一定期間生活体験ができる場を提供するために、４戸の体験住宅をご用意しております。

◆住宅：体験住宅Ａ（農村部）　長期滞在型
　　体験住宅Ｂ、Ｃ、Ｄ（住宅地）　長期/短期滞在型
◆賃料：長期滞在型（３か月以上１年以内）1,850円/日
　　短期滞在型（７日以上３か月未満）3,000円/日

※水道光熱費・NHK受信料・ネット使用料含む。
　灯油は利用者負担になります。
※予約は電話にて受付しております。

【住宅の取得をサポートする制度を整備しています】

◆池田町子育て世帯住宅取得応援奨励金

新築住宅/子ども（中学生以下）一人あたり100万円、中古住宅/子ども（中学生以下）一人あたり50万円（購入額の3分の1を限度）※町内建設業者加算（新築のみ）50万円

【子育て支援制度が充実しております】

◆出産祝い金

第１・２子の出産：５万円、第３子の出産：10万円、第４子以降：30万円

◆育児支援金

満１歳を迎えた児童：５万円、満２歳を迎えた児童：５万円

◆乳幼児等医療費給付事業

18歳を迎える年度末までの子どもの医療費（保険診療分）を全額助成します。

池田の魅力
【町内対抗カーリング大会】

【池田町のここが魅力】

・田舎だけど、ほどよく便利。交通アクセスの良さが抜群です。
・カーリングやペタンク、パークゴルフなど子供から大人まで楽しめる、ちょっと珍しいスポーツが盛んです。
・「ドリカム」ファンの聖地。
・「清見」「山幸」に代表される各種ワインを製造。ワインの製造工程の見学もできます。
・町のシンボルでもある「ワイン城」のレストランから見える景色は別格です。美味しい食事とワインを楽しみながら、ゆっくりとした時間を過ごしませんか。

【移住相談窓口】

池田町　地域振興課　地域振興係　TEL：015-572-3218

〒083-8650　中川郡池田町字西１条７丁目11　メール：chiiki@town.hokkaido-ikeda.lg.jp
URL：https://www.town.hokkaido-ikeda.lg.jp/kurashinavi/

⑮ 豊頃町　とよころちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

豊頃町は十勝平野の東部に位置し、帯広から車で約45分。南側は太平洋に面し、中央を南北に十勝川が流れ、緩やかな丘陵地帯に囲まれた静かなまちです。

畑作・酪農、林業、水産業を基幹産業とし、**「じゃがいも」**や**「豆」**をはじめとする十勝平野の豊かな農産物や太平洋でとれる新鮮な**「大津産秋鮭」**など質の高い特産品も数多くあります。海・川・山・湖と恵まれた環境下なので、天然記念物のタンチョウやオジロワシなど貴重な野鳥や、太平洋沿岸では珍しいコケモモなどの高山植物とハマナスなどの草原植物の混生も見ることができます。

豊頃のみどころ【はるにれの木】

土間のある家

【農ある暮らし移住等体験用住宅】

豊頃町では２棟の素敵な住宅で移住体験ができます。時間がゆっくり流れる北国の田舎まちで、これからの生活を考えてみませんか？近隣にはコンビニエンスストアもあり、国道38号にも近く帯広市や釧路市へのアクセスも便利なほどよい田舎暮らしが体験できる環境です。敷地内には農園を整備しており、畑づくりや収穫体験を通じて季節ごとの新鮮な野菜を味わうことができます。

◆住所：豊頃町豊頃南町116（とかち帯広空港・帯広駅から車で約45分）
◆間取り：土間のある家　木造２階建て　１ＬＤＫ
　　カラマツの家　木造平屋建て　１ＬＤＫ
◆期間：１か月～６か月（１か月単位）
◆料金
　４月～10月末　（３か月以内）69,000円/月　（３か月越）49,000円/月
　11月～３月末　（３か月以内）49,000円/月　（３か月越）29,000円/月
　※別途、１回の利用につき清掃料20,000円

カラマツの家

豊頃のみどころ
【ジュエリーアイス】

豊頃町では定住促進を目的に様々な支援を行っています。移住をお考えの方は、お気軽にご相談ください！

◆**定住促進等住宅取得補助金**：自ら居住する住宅を町内で新築、中古住宅等を購入した人を対象に現金と商品券を合わせて補助。（新築：最大230万円、中古：最大150万円）
◆**町外通勤者助成金**：町内に居住する方が町外の職場に通勤する場合、通勤状況に応じて１人につき月額７千円相当の商品券を交付。
◆**出産祝金**
　第１子 10万円　第２子 20万円　第３子以降 30万円 を支給。
◆**健全育成支援金**：満１歳から満６歳までの誕生日を迎えた児童に対し、毎年10万円を支給。
◆**保育所通所支援金**：町内の保育所に通所している児童（一時保育を除く）に月額５千円を支給。

【移住相談窓口】

豊頃町 企画課 町づくり推進係 TEL：015-574-2216

〒089-5392　中川郡豊頃町茂岩本町125番地　メール：kikaku@toyokoro.jp
URL：https://www.toyokoro.jp/site/iju/

⑯ 本別町　ほんべつちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

本別町は十勝の東部に位置し、町の半分以上の面積が山林で覆われた、美しい自然と豊かな緑に囲まれたまちです。夏と冬の寒暖差が大きく、１年を通して晴天が多く、降水量・降雪量が比較的少ないのが特徴です。

基幹産業は農業で、特産品の「豆」のほか「小麦」や「てん菜」、「ばれいしょ」など「十勝ブランド」とも称される優れた農産物を生産しており、良質で安全・安心な食料を全国に出荷し、特産品づくりやブランド化にも積極的に取り組んでいます。

まちでは、四季を通じて多くのイベントが開催されており、節分時期には、町内の若者が中心となり、特産品の「豆」を使った節分イベント「豆まかナイト」を開催し、町民パワーで「豆のまち」を盛り上げています。

また、町内には北海道横断自動車道のＩＣ・ＪＣＴがあり、北見方面と釧路方面、そして札幌市などの道央圏を結ぶ流通基盤として注目されています。

本別のみどころ【本別公園】

本別で活動する地域おこし協力隊

【自分らしいチャレンジをしたい方を応援します】

本別町は人と地域とのつながり濃ゆい「自分らしく」生きられる町です。自分らしくチャレンジしたり、田舎暮らしを楽しんだり、町にはそんな生き方を選択する先輩が暮らしています。町が独自に取り組む交流町民の場「わやカイギ」や、インターン型協力隊、おためし型協力隊制度などの「背中を押してくれる」機会を活かし、本別に飛び込んでみませんか。

【町内の事業所や農場で働く方を支援します】

◆仕事体験支援
移住定住を目的に町内の事業所等で仕事体験を行う方へ交通費の1/2を助成します。

◆引越費用支援
町内で正社員として採用又は起業を目的に移住するための引越費用の1/2を助成します。

◆家賃支援
町内で正社員、起業を目的に移住し本町の賃貸住宅に居住する方の家賃月額を１年間助成します。

広大な大地に広がる豆畑

中期おためし住宅【市街地区】

【テレワークが可能なおためし住宅】

町内には、期間に応じて２タイプの住宅を用意しており、市街地に位置する住宅は、スーパーや飲食店、道の駅などが近くにあり、利便性に優れた人気の体験住宅です。

◆利用期間：１週間～１か月
◆利　用　料：１日2,000円（11月～４月は１日200円加算）

※光熱水費込、Wi-Fi利用料込、必要最低限の備品等完備

【移住相談窓口】

本別町　未来創造課　未来創造担当　TEL：0156-22-8121

〒089-3392　中川郡本別町北２丁目４番地１　メール：msouzo@town.honbetsu.hokkaido.jp
URL：https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/web/migration/index.html

⑰ 足寄町　あしょろちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

足寄町は十勝の東北部に位置する“町”として日本一大きいまちです。帯広市から車で１時間５分程度の距離にあり、広大な大地と豊かな自然を有効利用した農林業が基幹産業となっています。特に酪農においては「放牧酪農推進のまち」を宣言し、全国各地から新規就農希望者を受け入れています。

高速道路開通により、札幌圏と足寄町は１本の道で繋がっているため、利便性も優れています。

足寄町が目指す将来像「緑の大地にあふれる幸せ 安全で安心なまち あしょろ」の実現のため、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを進めています。

足寄のみどころ【オンネトー】

足寄のみどころ
北海道遺産【螺湾(らわん)ブキ】

阿寒摩周国立公園内の「オンネトー」や「雌阿寒岳」、北海道遺産「螺湾（らわん）ぶき」など、豊かな資源に恵まれており、特産品は螺湾ぶきのほか、放牧酪農によるチーズ等の乳製品、温泉熱を利用して通年栽培しているイチゴが有名です。

町内には総合体育館や温水プール、図書館などの公共施設、スーパーやドラッグストア、コンビニも複数あり、生活環境も整っています。また、里見が丘公園の大型遊具や足湯、足寄動物化石博物館など、家族で楽しめるスポットも充実しています。

足寄のみどころ【里見が丘公園】

【「子育てするなら足寄町」がキャッチフレーズ】

保育料（家庭保育・学童保育を含む）の無償化、学校給食費の無償化、子育て応援出産祝金贈呈、足寄高校生への各種支援・公設民営塾（受講料無料）の開設など、さまざまな子育て支援を実施しています。

【住環境・店舗等整備補助金】

町内建設業者の施工等を条件に、住宅の新築・増改築・購入を補助します。（最大150万円）

足寄町移住体験住宅

【足寄町移住体験住宅】

移住を検討されている方に、市街地に移住体験住宅をご用意しています。

◆利用期間：４日から３か月以内
◆利 用 料：1,500円/日、冬期加算500円（10月～４月）
※光熱費込み
◆申込期間：利用開始希望日の２か月前から２週間前まで
◆そ の 他：Wi-Fi完備、必要最低限の備品等を揃えています。

【移住相談窓口】

足寄町 総務課 企画財政室 TEL：0156-28-3851

〒089-3797　足寄郡足寄町北１条４丁目48番地１　メール：sousei@town.ashoro.hokkaido.jp
URL：https://www.town.ashoro.hokkaido.jp/citypromotion/

⑱ 陸別町　りくべつちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

陸別町は、豊かな自然に恵まれた林業と酪農の町で、「日本一寒い町」としても有名です。冬期間の晴天率が高く、早朝には放射冷却現象により気温が下がり、マイナス30℃を下回ることもありますが、雪は少なく、日中は暖かく過ごしやすいまちです。周囲を森林に囲まれ、寒冷な気候が生み出す澄み切った夜空は、満点の星空を創り出します。国内最大級の公開型望遠鏡を備える「銀河の森天文台」は、多くの天文ファンから注目されています。夏季には、「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」の運転・乗車体験ができ、多くの鉄道ファンも訪れます。

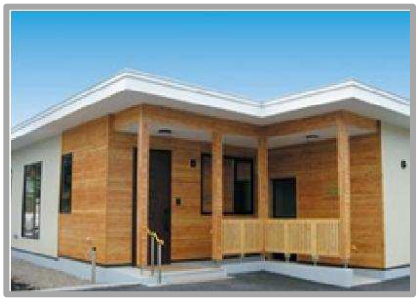
陸別のみどころ【銀河の森天文台】

陸別のみどころ
【ふるさと銀河線りくべつ鉄道】

「北海道の大自然の中で生活したくても、いきなり移り住むのは不安がある」という方には、生活に必要な家具・家電などを備え付けた「ちょっと暮らし住宅」をご用意しております。このほか、各種資料の送付や町内案内なども行っていますが、実際に生活体験して、良い面も悪い面も知っていただくことが一番と考えています。陸別町への移住をご検討頂ける場合は、是非「移住体験」をしてみてください！特に、道外在住の皆様には、降雪や寒さが厳しい冬場の体験もお勧めします。

【陸別町のちょっと暮らし住宅（３棟）のご利用方法】

◆体験期間：最短６日間～最長30日間まで
◆住宅使用料：①移住促進モデル住宅　日額2,700円
②東１条ちょっと暮らし住宅　日額2,200円
③恩根内ちょっと暮らし住宅　日額2,000円
※11月～４月の間は冬季加算で日額500円が加算されます。
◆申込
年度末に次年度利用の先行募集を行うほか、空きがあれば年度中に随時申し込みができます。下記ＨＰで空き状況をご確認の上、申込フォームまたは電話にてご連絡ください。



移住促進モデル住宅

東１条ちょっと暮らし住宅

◆参加いただける方
『北海道への移住を検討されている方で、事業の趣旨に賛同し、アンケート調査等に協力いただける方』体験期間中は日誌等を記入していただき、インターネット等で公開させて頂いております。
◆その他
陸別町まで及び陸別町内の移動については参加者の負担となります。近隣空港は女満別空港やとかち帯広空港が近くて便利です。また、町外への移動は、自家用車もしくはレンタカーのご利用をお勧めいたします。

【移住相談窓口】

陸別町　総務課　企画財政室　TEL：0156-27-2141（内　215）

〒089-4311　足寄郡陸別町字陸別東１条３丁目１番地　メール：ijutaiken@rikubetsu.jp
URL：https://www.rikubetsu.jp/iju/

⑲ 浦幌町　うらほろちょう

管内市町村紹介＆移住相談窓口

浦幌町は、十勝の中心である帯広市の東、車で約60分に位置する農業や漁業を中心とした第一次産業の町です。冷涼な気候で、日射量は全国でもトップクラス。十勝晴れとも呼ばれる晴天が多い気候のもと、畑作や畜産、漁業が営まれており、「十勝ブランド」とも称される優れた農産物や漁獲物を産しています。森林公園内にあるキャンプ場は、夏には大勢の利用者で賑わいます。留真温泉は、道内有数のアルカリ泉で美肌の湯として評判です。毎年９月の「ふるさとみのり祭り」では日本最大級の餅まき（特産品の当たり券付き）が催されます。

浦幌のみどころ
【美肌の湯・留真温泉】

移住体験住宅（南町）

観光で訪れただけでは味わえない、北海道での日常生活を体験できる「ちょっと暮らし」のための住宅を３戸用意しています。

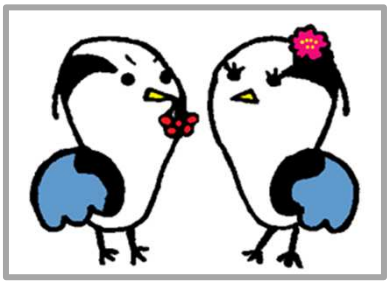
【移住体験住宅（南町）】
利用期間：３日以上１月以内　利用料金：90,000円/月

【移住体験住宅（光南①-東、光南①-西】
利用期間：１月以上６月以内　利用料金：39,000円/月
※光南①-西はペット飼育が可能です。

定住人口の増加を図るため、住宅新築や中古住宅購入に対する支援措置として定住住宅取得補助金を交付しています。新規移住者の方には、住宅新築の場合200万円、中古住宅購入の場合100万円を交付しています（うち２割は町内で使用できるハマナス商品券となります）。また、町内業者が施行（下請工事を含む）する場合は、50万円が増額されます（うち10万円はハマナス商品券）。

また、本町に住民登録がある時に産まれたお子さんに対し、出産祝金（第１子 10万円、第２子 20万円、第３子 30万円、第４子 50万円、第５子目以降 100万円）の贈呈や、高校卒業まで医療費無料など、子育てに関した環境も整っています。

移住体験住宅（南町）の内部



浦幌町のマスコット
「うらは」と「ほろま」

浦幌町では、移住希望者のニーズにきめ細かく、かつ柔軟に対応するため、「定住・移住・交流」の観点からワンストップで支援する相談拠点を設けております。

移住の総合窓口として、皆様からのご相談を承ります。

【移住相談窓口】

株式会社 リペリエンス

〒089-5613　十勝郡浦幌町字幸町70番地２　メール：info@reperience.jp
URL：https://www.urahoro.jp/iju_teiju/ijuuteijuu_purojekuto.html

管内市町村 人口・世帯数

市町村	人口	市町村	人口	市町村	人口
帯広市	164,014	芽室町	18,029	豊頃町	2,977
音更町	43,268	中札内村	3,902	本別町	6,375
士幌町	5,883	更別村	3,158	足寄町	6,350
上士幌町	4,890	大樹町	5,439	陸別町	2,217
鹿追町	5,144	広尾町	6,229	浦幌町	4,302
新得町	5,581	幕別町	25,897	十勝 計	328,861
清水町	9,047	池田町	6,159	(R5.1.1現在)	

引用元：令和５(2023)年 住民基本台帳人口 ／ 北海道総合政策部地域行政局市町村課調べ

先輩移住者たちからのアドバイス

◆近所づきあいを大切に

都会よりも人との付き合いは濃密です。人口が少ない地域ほど、近所づきあいが大切になってきます。コミュニケーション不足は不信感に変わり、雪かきやゴミの出し方などの些細なことでトラブルになることもあります。

日頃より地域の行事やコミュニティに参加するなど、積極的に溶け込んでいきましょう。日常の分からないことは、ご近所に聞いてみましょう。新しいコミュニケーションが生まれてきます。

◆下見・情報収集を

移住による環境の大きな変化に不安やとまどいを感じたら、事前に自分の納得のいくまで下見・情報収集をしましょう。何度でも足を運び五感で感じ取ることで解消することができます。

移住体験住宅でちょっと暮らし体験をするとまちの雰囲気を感じることができます。暖かく過ごしやすい季節より、ぜひ冬の生活を味わってみてください。一冬を過ごして春を迎える経験をすると、移住の自信がつきますよ。

◆もともと移住者のあつまり

開拓民が入植してきた北海道は、もともと移住者のあつまりです。そのため、移住者に対する一定の理解があります。積極的に交流を図り、地域の輪に加わりましょう。

土地が広いのでガーデニングも本格的！
リノベーション可能な古民家を探して住んだり「自分仕様」の暮らし方を思いっきり楽しめます。

十勝圏複合事務組合とは

十勝管内１９市町村の広域行政を行う組織で、地域振興に結びつく事業を中心に、十勝圏域内だけでなく、圏域外の住民に向けての事業も行っています。
移住促進事業もそのひとつ。十勝管内への移住を希望する方に対してのアドバイスや、情報を探すためのお手伝いをしています。

発行：令和６年５月

十勝圏複合事務組合

〒080-2464
帯広市西２４条北４丁目１番地５
TEL：0155-37-3491（直通）
FAX：0155-37-3494
E-mail：soumuka@tokachiken.hokkaido.jp